

バスト又週報

第1534号
昭和五十一年
十月四日
月曜日発行
Diretor
Koiti Mori
Redator
Shoho
Miyatake
Rua 10 de
Novembro 382
C. Post. 412
Fone 340
BASTOS
E.S.P.
Anual
Cr. # 35.00
Adiant.
前金

潮騒 41

病中呟語



○自民党の内ゲバでは三木さんがとうとう勝ったな別に三木、反三木、どちらが勝つともいいしようなものだが、三木さんの方がねばりが強かった。一時は、あわやと思つた時もあったが、反三木には口ツキード隠しというスガシがちらちらするので、同情がなかったのだろう。

A「何んだい。海流なまこのような足じゃないか。コンニャク脚かい。ひでいもんだな。これじゃ歩かれんだろう。おやおや、すわり込んでしまったな。いつごろからこんなになつたんだ。いったい、何の病氣なんだ」

B「なまこ足になつたのは、まだ十日くらいだ。その前は、ひまろひまろ足で椅子につかまったり、メーガにつかまったりして歩けたんだ。その前は運動のつもりで廊下や庭を五百メートル程歩いたものだ。それが、何の子若もなく、ずるずるとコンニャク足になりやがったんだ。俺はこんな病氣。て、さいたことないね。糖尿病とか、癌とか中風ちゆうふうというのなら、がまんできるが、ナマコ足病なんて知らなかつたよ」

A「自民党みていながらだ。よく自解作用を起さぬものだ。ドトールは何と云つてゐんだ。ソート口なんか打つたか? コミューダなんかどうだ。」

○大体、三木おろしの仕掛人というやつ、これかひとりで火をつけてまわつたんだな。いやしくも首相たるものを引きずり下ろさうというのは、火をつけてから周囲のものに相談してやる。三木には自民党を引張つてゆく統率力が足りません。党内派閥改革なんて、自分で言い出しておいて、自分か主犯となつたら、知らん願しとる。

椎名仕掛人、だいたい国尉であつたが、火事にはならなかつた。三木をおろしても、あとがきに誰を据えるかが決つておらぬ。というのも迫力がなかつたね。任期が短いし、臨時総会をやりにやならん。解散か、総選挙といそがしいことだ。それまでうまく行けばいいが、総選挙でつまずいて見ろ。加だがつたな」

B「俺は、ソート口なんでも、せいぜい二時間もあつたや、すむもんと思つていたが、注射液の瓶を見たうたまけたな。一リットルくらいもありぞうだ。あの夜が皆俺の体の中に吸収されるのか。看護さん、何時聞くらいかかるでしょうかと、おそろおそろ語ねてみると、八時間から九時間でしょうね。」

SUPER MERCADO TARODA

Rua Adhemar de Barros 175, Fone 16, Bastos



アテマル デ バロー ス街一七五番地
スベルメルカード

太郎田屋嘉士門

電話 一六番

何でも揃う安く買って買いいい店

内外雑貨・食料品一切
電気用品・水道用品及び金物類
フエーラメント・合股器類
炊事・台所用品・陶器・漆器類
カス、飲み物の類一切・カンツメ
子ども局の遠い方のため店頭にもトロン
ポストを用意しました。切手もあります。

FLORA BASTOS

T. MORIMOTO & FILHOS LTDA.
Rua Duque de Caxias 271, C. Post. 171, Fone 29

森元苗木本舗

電話 二九番

生活安定確保に備えて果樹園造営を
果樹園成功の秘訣は良種の苗木を造ること
優良種苗木なら農林省公認の
フロラ・バストス森元苗木本舗

へ御相談下さい。親切に説明いたします。
蘭の珍種改良種は全南米の有名園主と提携して安価
提供中。ロシヤ子巡廻と提携して何分よろしく
果樹園の他に庭園樹・木生用樹・金魚池・
植用の小さい花木苗・植林用樹等あり、尚
聖芸用苗木一切あります。

さあ、しまった、身動きもできず、と、な長時間
横になつていられるものか。

その日午後三時頃から始めて、夜中の十二時迫
延々九時間しぼりつけられたまま、眠ることもでき
ず、何とも惨酷な刑罰を受けているようで、やたら
と腹を立てていた。それでも時々看護婦さんが血圧
を計りに来たり、輸液剤をのませてくれたり、付添
のM女が尿をとってくれたりしたので、気はまぎれ
たが、二度とこんな打注射は受けるものではないと思
ったね。

あ、もう一度でこりこりだ。からだの衰弱した人などはよく効くだろうが、俺みたいな頑固おやじには、そう効いたとは思われんな。だいたい薬とかいうもんは、なると信んじ、神様ありがとうございませと合掌してただかねば効かないものだ。だが俺は、どうも、そうすなわに信仰などおこらないのだな。別に薬には不信心というわけでもなく、ドートルが来て優しく言ってくれば、その時は、そつかな、とありがたく思うんだが、こんどのナマコ足みたいなのは、注射くらいでは駄目なんかな。神経痛、B12、その他いろいろ注射をつづけているが、コンニマクに釘だ。

何？、たべ食、ああ、よけい食べぬが、うまいね。すきなものは、ソバ、にマカロン、おじゃ、トロロ、ときにはフェジョア、夕のような油、こいものも食べる。歯がないから固いもんは駄目だ。

○たとえ俺の体が自民党だとしてみるか。オペラして取り除かばならぬところがあるとすれば、坐骨神経痛の一部じゃないかと思う。何しろ五十キロ近い自方がのっかかっているのだから、立ち上るとぐわんと大股持へ響くんだ。自身党の一番わるいところは派閥だわなあ。野党だつて内部に派閥のようなものはあるだろう。自民のように田中派88、福田60、大平50、三木40、中曽根30何々と、十派にも分かれて勢力を張っている。なかなかごたごたは絶えぬ。

そういう派閥は金脈がなければ運営は出来ないう、金脈をつかもうとすれば口ツキキドのよう打、不純物が入り込んでくる。政権を確保せんとすれば、政商や企業のお金がからみつく。

それが神経痛の一部を除くように政党の金脈がリンパでさるだろうか。金を持っていくから親分だが、金のない親分なんて、おおよそ魅力ないね。今の自民党で派閥制度をやめる手段ができるだろうか。金脈が赤線々となった今日では、もうこれまでのように金権政治はできまいし、どのようなオペラソんで病根を除去するであろうか。

A「すると、何だね、君は内臓はどこも悪くないと見えるね。食べ物が入るところを見ると、心配ないな。足がわるくて寝たり起きたりのちいさんは方々にいるから心配いらんよ。寝こまぬようにがんばりなさい」

B「今が悪いとん底で、これから一月二月とだんだん恢復して行くといんだけど、これまでの調子だと、一週間、十日、一月と、ヒリヒリとおかしくなるんだ。壁でもつたわって歩けたんだが、もう足が前に出なくなっちゃった。この島鹿野郎と、大馳を叩いてみるが、じいんと痛むだけだ。いよいよいけなくなったら、車椅子とも思っている。

A「あの、小児麻痺の鬼が乗っている奴かい。ありや大袈裟だな」

B「いや、あんな大きなものじゃない。ミンソンの下にローラメントのついたのがあろう。あれで握えとるんだ。適うよりはましだと思ふ。今のところ、オペラしてよくなるものか、どうか、専門医に診てもらわにゃ判らんが、このコンニマク脚ではともな

AVISO de HOSPITAL de BASTOS

病院よりお知らせ

皆さん御待望の

眼科専門医の



先生をお迎えして眼科を開
設致しました。診療日は十月八日
及び二十二日の金曜日午後一時分

海野勲先生

治療の外眼鏡の度し調べます
尚、眼科手術もいたします。

御利用下さい

バストス病院

各位

うんので、様子を見ているところだ。

A「しまでこまるだろう？」

B「いや、それほどでもない。新聞、雑誌と読物はあろし、日記もつけるし、駄文でも書いていりや、何とかなる。

だが、こうして毎日新聞を見ていると、しろんな事故やテザストレがあるもんだな。次々の空賊さわき、飛行機の墜落、クルマの衝突は更なり、汽車の正面衝突まであるんだから、ひどいもんさ。俺の理想とする前は、脳血詮か、心臓麻痺みたいな奴で、あつというまに持って行かれたいんだが、生きこるのか、死んでるのか判らず、メシを食ってろのけかなわんな。

A「総選挙の気通しは、どうかね」

B「されば、こりやむずかしい問題だね。野党四党にとっては、保革道転のチャンスだが、どうううまく行くかな。自民党がめっちゃめっちゃにれば面白いが、俺は大体頭が古いで、保守の勢を振るのみだ。たとえ、一票の差でもいから、保守党に勝つてもらいたい。たわごとみたいなもんだが、足とちがって、口の方はまだいかれていないんだよ。

糸音

御礼

金一封

石井御子息御不幸の際当公へ御寄附下さいました。厚く御礼申し上げます

山口金丸様

バストス明老会

バストスの今日の繁栄を築いた恩人 故 渡部さわ子さん

私は故渡部さわ女史の養鶏に関する記事は今迄に二回ほど書いたと記憶しているが、それにもかかわらず、バストスの養鶏はいっ頃から起ったのだろうか、誰れが最初に養鶏を始めたのだろうか？とよく聞かれる。

現在のバストスで居住するものは、自分が養鶏に従事するとならないにかかわらず、養鶏の恩恵を蒙らないとはいえないだろう。

文協で毎年鶏魂供養を催し、鶏の霊に感謝の意を表しているが、この鶏魂供養の当日、バストスの養鶏創始者である故、渡部さわ女史の慰霊祭をも共催することも無意味ではなからうかと愚考するのであるが、どんなものであろうか。その慰霊祭により故きわ女史の功績をしるがよすがになるのではなからうか。

今日ばかりすも、織田糸音老が足が不自由になり車椅子のようなものを阿部五郎氏の鉄工場で作ってもらったという話を聞いたので、様子を兎に行き途中で、生井澤夫人にお目にかか、て話をしていると、はからずも夫人が、

「私の家にバストスの養鶏創始のことを書いてある本があるというので、お借して帰った。

昔者は岸本兵陽氏（岸本孝一氏）で、一九五五年発行、（世界の果てに黎明を創る、ブラジル先駆者の足跡）という長い表題の書物で、サンパウロ市創設四百年祭記念出版とある。この中に故渡部さわさん、夫君の喜助さんの寓興と記等が掲載されているので、茲にこれを再び採録してみよう。

それゆかんとするコロニアの大地が、新らしき鳥と共に生き返った。雌には、女性の生命を賭けた「歩」があつたのだ。赤貧に飢えながら、侮辱され、罵倒され、病床に病ほうけて尚、一人で舌を噛み負って、どんないやな道であろうとも、逃げ出さず、涙を拭いて耐え忍んで来た精神から新らしい夜明けが作られてきたのである。

「鶏を人間の病院へ」

今から二十年前（この文を兵陽氏が書いたのは一九五五年頃だから、茲で二十年前とは、一九三五年頃をさす）きわ子さんは夫喜助さんと、子孫の安住の地を求めてバストスに入植した。その頃バストスは棉と養蚕時代で、我か世の春を謳歌する黄金時代であつたが、砂質土の土地は、一時非常によく育ちるが、すぐに寿命が尽きて瘠地になつて何も出来なくなるとの来ることを知っていた。カフィーも十年で実のうらなくなつてしまふ。土地相手に生きて行く百姓が、土地が何れも出来なくなつたら、どうした方がいいのだろうか？……

方法は二つだ。バストスを出て新しい肥沃な土地に移つてゆくか、それとも此所で何か新しい通作物を見付けて打開して行く方法……この二つの何れをとるかであるが、きわさんは「運命はどんな

悪い所だつて作つて行けるものだ。サンパウロ郊外では先住人が百年も作り荒らして放つたらかした土地を、日本人が立派に生かしているのだ。バストスにもきつといい方法があるにちがいない。」

きわさんは、バストスを永遠の故郷と定め、さて何によつて終極の安定を作るかに就いては目星がつかなくつた。

或る時地用があつてサンパウロに出て、ピラ、マリマの場末に住む知人、久保氏（久保牧師）を訪ねて行つた。久保氏は女手だけで三百羽の鶏を飼ひ、夫人自身がフェラ（市場）に立つて卵売りをし、一家の生計を建て、尚その上に、子息を大学に勉強させているのを見てきわさんは、

「鶏だ、鶏だ、鶏でバストスを救うのだ」と叫びながら躍り上つた。

百の姓生案、千の成功談よりも、只一つの生きた事実こそ人を動かす最大の力であつた。きわさんは早速貧しい財布を絞つて六十日雞三百羽をサンパウロから購入して来て飼育した。この三百羽が、やがてバストスの雄となつてくれ、と竹リ乍ら、吾が子を育てる様な気持ちで、一生懸命に育てた。甲斐もなく、はたばたと「赤利コクシニム」に罹り死んで行くのだ。次第に弱つてゆく呼吸、波打つ腹部、あえぎながらも優しい飼主を見上げる悲しい瞳、そして「と下」に落ちて音もなく死んでゆく。愛鳥の無惨な有様をカンテラ灯で一目見た瞬間「あ、大変、早くお医者さんを……」というより早く彼女は狂気の様に、町に走り、病院の医者の所に駆けつけた。

開店お知らせ 建築材料専門店

元、福本製糸工場の前に開店致しました御利用を願致します。木材以外のすべての建築材料を取り扱っております。御注文は迅速にお届け致します。

石灰・セメント・建築用金物
一切サンタ・下水用土管
砂・砂利・石炭・戸窓・ベネチア製造部門・台所流台・水槽用タンク・洗濯台等・御注文に
応じます。

COMAF - MATERIAIS PARA CONSTRUÇÃO
ANTHERO FERNANDES E FILHOS LTDA.
Rua Pres. Vargas - 840 BASTOS. E. S. P.

Cal. cimento, ferro para construção, tintas, telhas eternit, manilhas, tubos para esgoto, vitros, portas, arcias, pedras. Fabricação de pias, tanques materiais eletricos em geral. Entrega À Domicilio

アンテロフェルナンデス
マリオス商会

「ドットール、大変です、鶏が、鶏がみんな死んでしまします。ドットール、何とかして助けて下さい。」

人の病気を看る医者に、鶏の病気をなおしてくれと頼みに行ったのも、きわさんにとっては命の綱であるからだ。バストスの笹田病院長は、狐につつまれた様な、何か何やらさっぱり分らず、

「奥さん、此所は人の病気を診るところですが、何かお考えがえちがいをしていらっしゃるのではないですか？」

「わかっています、鶏の病気を助けて頂く人はドットール以外にないのです。お願いします。何とかして下さい、お願いします。」

笹田ドクターは一付始終を聞いて、健康な雛をすぐ隔離すること、死んだ雛は深く穴を掘って埋めて鶏舎を消毒すること、それから生残りの雛には予防注射をしなければならぬ。その注射薬は「トニア人」ワルバ」に行けば得られるでしょう。という事を教えてもらった。きわさんは泣きながら、手を合せて拝み乍ら、何度も「有難うございます」礼を述べた。笹田院長は、

「わしもいろいろな場面におつかって来たが、貴女ほど生物を愛われぬ人を見たことがありません。貴女のような優しい気持ちの人には今にきつと良いことかありますよ」と目をうるませるのであった。鶏の病気を人間の医者様の指図を受けて三百羽のうち百五十羽を助けることが出来た。命の綱と頼む三百羽の雛が半分減ってしまったので、補充しなければならぬが、今後殖やす度びにサンパウロから雛を取り寄せたのでは高いものにつくので自分の手を孵化することにし、小型孵卵器を買って毎日孵化した。

さて孵化をしても、これを育てる仕事は容易ではなかった。其の頃サンパウロ近郊にも大した養鶏場はなかった。其の当時として進歩的なり方をしていたた「トニア人」のワルバ植民地に毎日通って雛の育て方の研究した。言葉は解らなかつたが、トニアの養鶏主任は実に親切に教えてくれた。殊に日本人の女が幾十キ口の道を馬車に揺られて習いに来る熱心さは、全植民地の評判となり、「ドナ、キワ」の名を遊ぶ子供まで知られるようになった。

その頃「トニア」の育雛は「ストーブ式」で、一回二百羽しか出来なかつた。ところが「ロイステ」のアリアンサの弓場農場では「スパルタ式」と云う育雛法を採用して居り、設備も簡単で、一回に一千羽位出来、この育ち方によれば、非常に強健に育ち、コクシキウム（赤痢）に罹らない特徴がある。と云うことを人伝へて聞いたので、きわさんは矢も楯も知らず弓場氏の所へみっちり精魂も打ち込んで新道の大先輩の下で鶏の第一歩から研究してみようと思いたる、弓場氏に問い合わせたところ、

死亡通知並に会葬御礼

夫、阪東一（61才）儀、永らく病氣療養中の旭菜石効なく去る九月二十二日午後一時遂に永眠致しました。依つて翌二十三日午後五時自宅出棺バストス墓地に埋葬致しました。

生前御交誼を賜りました皆々様に謹んで御知らせ致します。尚葬儀に際しましては御多忙中遠路御会葬下され目つ過分なる御香奠御供花を賜わり厚く御礼申上げます。

実は一々御礼に参上致すべきですが取込中其の意を得ず、失礼乍ら紙上にて厚く御礼申上げます。

一九七六年九月二十四日

- 喪主 阪 東 清 美
- 長男 〃 孝
- 長女 〃 陽
- 二女 〃 弘
- 三女 〃 幸
- 四女 〃 節 子
- 親戚 一同
- 友人 一同

- PREFEITURA M. BASTOS 様
- FORMANDO 1968 ALUNOS 様
- ALUNOS de BASTOS 4º ANO CONTABEIS 様
- COLEGIAL DIURNO C.E. PTOK 様
- 和歌山県人会 様
- ハストス商工会 様
- ハストス仏教婦人会 様
- ハストス南米本願寺 様
- 中央親睦会第一区 様
- ハストス婦人会 様
- PLハストス教会 様
- 会葬者御一同 様

きわさんは大きな壁に突き当たって進退に窮してしまつた。善良な夫は今まで何事にも深い理解をもつてくれ、一生懸命になつて協力してくれたが、きわさんはどうしても此の争ばかりは切り出すことが出来ず、独りで苦しみ続けた。「スバル式有難、弓場農場」夢にまで見るようになった。

「弓場農場へ行つて勉強してくるかいよ。後のことは何も心配しなくていいから……」と優しく言ってくれた。きわさんは言葉が出なくて、いきなり炊事場の中に駆け込んで思い切り泣いた。この時ほど、夫の寛大な心を有難く思ったことはなかった。

ほんとうに其の道で生きるには、器用や自己流では駄目だ。年輪を入れて勉強をしなければならぬ物は打らないので、きわさんは四十歳の手習いを始めることにした。

「渡部の奥さんはなかなか元気なもんじゃ。今度こそへ一人でも百日もバシヤに行つて来るげな。何んでも人の話によると、いい人があるちうことじゃよ」
「そう云えば、今までもサンパウロじゃ、レトニアじゃとよく出歩いて行きよつたが、バストスを出るともうよか男と一緒に行きよつたげな。鶏は表看板だけで、実は奥さんの気保養じゃ」

何時の時代でも、女が家を出るとなると、あらゆる噂を散らされ、非難され、やり込められ、すたすたに心に傷を負わされるのだ。

世間の非難に負けるか負けないかが運命の岐れ道に打つた。千人が嘲り、万人が罵ろうとも、真実を行く者は何ものにも恐れはならない。婦人の勝利は耐えてゆくこと、忍んでゆくことだ。女が幸福を克ち得た霞にはどんなに多くの苦痛と呻きの中に戦つて来たかを知らねばならない。

きわさんは自分の生きる道、即ち子孫の安住の地を作るために、よりよい生活を求めて、古いものから新しいものを切り出すために家を離れて行くのだ。嘲りものも、笑いものは笑え、女の育くむ力、生み出す力をつくらねば行くのだ。子供を置き、家を離れて未知の世界にゆく女の複雑な悲しい気持ちを誰か知る……。

遂に光を仰ぐ日

ノロエスエ線の弓場農場は大部分若い青年男女だつた。十五歳以上を一人前と認め、朝四時半に起床それから体操をして各班の分担の仕事にかかるのだが、四十の坂を越したきわさんも若い人と一緒に四時半に起きて真っ黒になつて働いた。轉化、育雛、産卵、病気の予防治療、飼料の調合など十日間に一通りのことを覚得したので、愈々帰ることになると弓場氏は、

「小母さんは実によく働いてくれたね。農場にも山の人に来て働いてくれたが、小母さん位熱心に研究し、なりふりかまわず働いてくれた人は無かった。小母さんに私報酬と云うものが此所には無いのだが、小母さんの誠意に対して僕のお礼として、

日本から来る時に持つて来た布包があら、これを御礼として贈らして貰おう」

弓場氏が若い時、母親に作ってもらつた絹の布包で、箱の底に蔵つて置いたものを引つ張り出して来て、きわさんの前に置いた。弓場氏の身辺にある全財産であつたかも知れない。

きわさんは、弓場氏のこの奇抜な贈物を涙と共に受け取つて、狼たろや青年たちから別れを惜しまれながら家に帰つて来て、愈々鶏に對する自信たつぷりで本格的にやり出した。

ところが疑に又難問題に突き当たつた。それだけ販売の苦心だつた。鶏は良く育ち、卵はほとんど取れ産んだが、卵が小さいたのよく売れなかつた。そこへ悪いことには、レトニアの卵を力ミニオンを運んで来て安く売り捌いて行くので、手も足も出ない惨状に陥つた。

朝早く馬車に鶏卵箱を積んで町に売りに出るのだが、店産ではいろいろけちまをつけられ、値段を叩かれ、あげくの果て悪口まで言われ、何のため毎日苦勞をして居るのかをうたかたしてしまふこともあつた。今迄さんさんの苦勞をしたのに一文の金にもならず、出るは鴨息ばかりで、成くにも泣けないうれさだつた。鶏は人の苦勞も知らず各散なく餌を食い、費用は忘んでゆくばかりで収入は面白くないが、自滅は刻々に迫り来つた。結局、大量生産をしてサンパウロの大消費市場を相手にして仕事をしなければ打問の方法が有ることが判つた。それから、小さい個人の間では何も出来ないことを知つた。多くの賤を減し、値段を叩かれ、生産が多くなれば

おしらせ

としよりのたのしみ日記

明老演芸会

一、来る十月十七日(日)夜七時半

一、バストス総合会館

一、のどじまん、おどり・音楽

席としよりは舞台に近い席

一般席は、中頃よりうしろ

一般のお方もお来席できます

主催バストス明老会

後援バストス文化協会

コロール ビンソンド ブラジル 会社製

コロール マツギ 印 洗濯機

構造が簡単に出来ているので至極堅牢

タンキはブライバングラス製で腐蝕の心配なし

構造が簡単でつかう、故障も起すことがありません

タンキが小型ですからサボンの消費が少なくてすみ経済的です

製造会社がアラサツバですから、万一ベッサ取り替えの場合も心配ありません

正価、三回払い、二千五十九クルセーロス（現在値）

ゼニガメ製ガス風呂

腐蝕せず、美しく清潔で湯の冷めぬ

半永久的に使用可能の高級風呂です、（ファイバーガラス製）

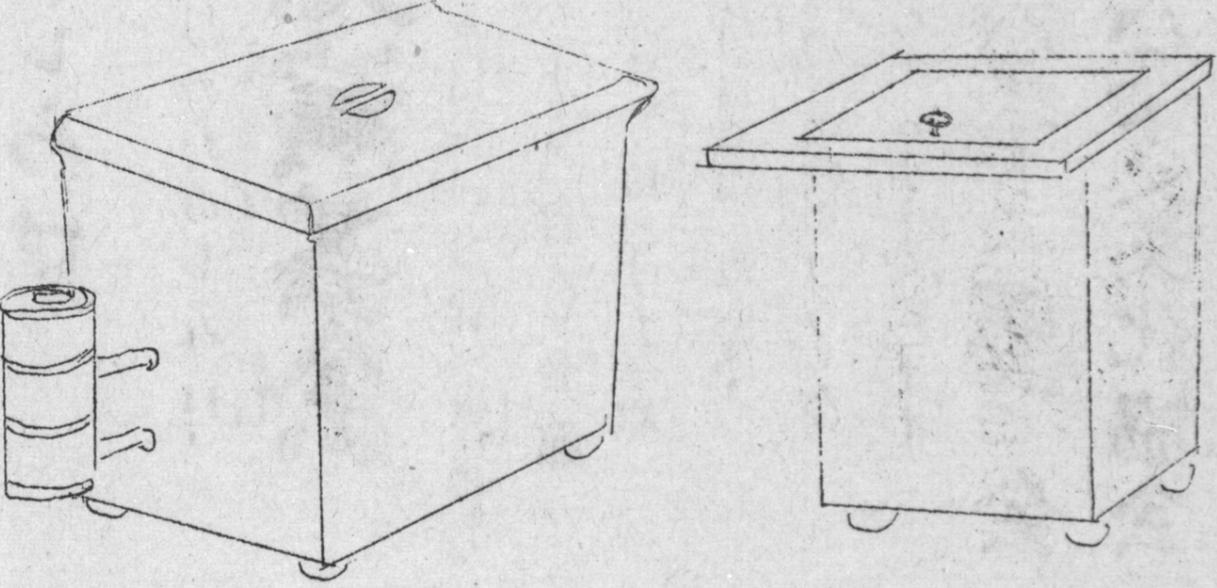
価格は現在二千二百クルセーロス。三回払は二千四百クルセーロス

御問い合わせの連絡先は、バスター市・ルア・タカノ・マッピト

（フリゴリフイコ信太さんの上隣）菊川まで

会社直売人 アラサツバ市

古賀 克朝



飼料代にもならない捨て売リだ。結束の力、組合の必要が痛感された。現状を維持してゆけば自滅だ。

大都会を目標にして局面を打開するには大量生産に

進まねはならない。生か死かの境目に立ったからには、今迄の五百羽を二千羽に殖やせ、専業にやろう

と決心し、鶏と生き、鶏と死ぬ覚悟をやる。全生命を打ち込んでやることにした。

一九三九年、販売の方はコチア産相と連絡をとって、サンパウロへ送った。田舎の市場を相手にして

いる時は、五百羽の卵を持て余したが、大都会相手に組合に送ったところ、幾千羽の卵でも消化し、バスターに届なからにして高価に売れていったので、初めて愁眉を聞いた。

渡部きわさんの養鶏も人の物笑いになり、卵が売れなくて金にならず、泣くにも泣けない破目に陥ったが、サンパウロに販路を求めたから、順調に仕事が進み、金廻りも良くなって来た。

此の頃からバスター又は土地が稀で棉が出来なくなり、養蚕の方も絹の値段がカタ落ちになって、前途の見込みが立たず、バスターの黄金時代も種花一朝の夢となって、植民地は火の消えたように寂れてしまった。行き交う人々の顔は憂鬱になって、街路には餌を求める瘦せ犬がだんだん多くなって来た。町の店屋は商売にならず、大戸を閉める者が続々と出て来、植民者はバスターに見切りをつけて新しい土地に引越してゆく者が潮が引く様に出て行き、或る区

の如きは六〇家族の内四十三家族が出て十三家族になり、又九十家族の某区は三〇家族に減ってしま

うなど、崩れかけて来た名門バスターの現状はどん

なにしても喰い止めることが出来ない破目になってしまった。

病院の空地に古い瓦らが澤山積み重ねられてある別に普請をしてい

る風でも打いのに、どうしたことだろうと思つて医師に聞いてみると、

「少し重症の子供が十日程入院したのですが、その入院料を支払う金が無いから養蚕の瓦を割いて持

って来て、これを金の代りに取って下さい」と云うので、とこのことであつた。成る程植民地を歩いて見ると、屋根の瓦は養蚕が来る前に見受けられたかんたんに三文の瓦は飛んだり、金の代りに物々交換したりして生活の料に代つていたのである。

こうして悲惨な状態に植民地が陥つた時、渡部さんの家では二千羽の鶏が毎日卵を山の様に産んでサンパウロと直接取引を

して飼料生産費、其の他一切の諸経費を差し引いて一カ年百コントスの純益を挙げているのを見て、人々は始めて鶏に注目し初めた。病氣と

なつても葉を賣ることが出来ず、米、塩の代りに瓦を売って生活しなければならぬ植民地に毎月十コント

近い収益を挙げている渡部さん一家が全植民地の希望の光となつた。飢たる者に百千の説法より、一片のパンがどんなに貴重になることであるか分らない。

「バスターの土地は瘦せ、養蚕は駄目になつたが、それに代るものがあるぞ。鶏だ、鶏によつて生活の安定が得られるのだ」という、生きた事実が全バスターを希望に沸かした。

（桃季物言ワズ、下己スカラ径ウナス）

美しい桃の花は黙々として自己を語らないが、多

く人が花を見に集まり、其の下にはひとりでも立派に道がつく……という漢詩の如く、渡部さわさんは、多年の間、不通の中に埋れながら、嘲笑され、罵られ、女として堪えられない侮辱を受けながら、もしてニアに走り、アリアンサに宿って身心をすり減らして来たのも、女として一つのものを生み出し、育むんでゆくためであった。それが今、郷土のお役に立つ日が来たのだ。こんな嬉しいことはない。自分の住んでいる里が自分のやって来た養鶏で更生し、多くの人々が他へ移ってゆかないで此処に落ち付くことが出来ることなう、どんなにでもしてお役に立ちたいと思つて村の人達の為めに働いた。

真つ暗闇の中に救いの光りを仰いだ村の人達は、毎日十人、十五人位いづう見学に来た。其の中でも或る区の主婦達が十二、三人見に来て、「渡部さんの奥さんに聞いて、私達もこれから一生懸命養鶏の方をやって、自分の村を興してゆきましよう」と、口々に誓ひ合う言葉を聴いて、さわ夫人の顔には白いものが流れていた。火の消えた村の家々から元気のいい鶏の鳴き声か聞こえ、卵を積んだ車が寂れ果てた村道を疾駆し、家々の窓からは賑やかな笑い声や蓄音器の歌声が流れて来て、「民のかまどは賑わいにけり」の古歌の情景が現われて来た。

屋根瓦まで削いだ貧窮の村を、今は三十万羽の鶏を飼育し、一ヶ月一万箱(三十万ダース)の卵の山をサンパウロに送り出す南米一の養鶏村、ついに上げた。其の第一歩こそ、渡部さわ夫人の努めと愛の力によって作られた。

刀弱い女の力は村を更生させたのだ。コロニアの女性よ優しかれ、そして強くあれ！ 雄々しかれ！！と祈り、今尚バストスの鶏舎の中に埋もれている、渡部さわ夫人に満腔の感謝を捧げてペンを握く。

右の文章は一九五五年、岸本血陽氏の筆になったものを転載したものであるが、すでに二十余年の歳月が流れている。

このバストスの大恩人渡部さわさんも一九六八年一月二十日突如不帰の客となつた。行年七三歳であった。又さわさんの長男パウロさんも一九七五年四月十一日、さわさん同様五十六歳の若さを惜しくも急逝された。コチア産組と契約を結んでバストス産の鶏卵がサンパウロへ進出する道を拓いたのは一九三九年で、パウロ氏もまた十代の青年であった。

今日ではバストスの鶏の数はどれ程の数にのぼるであろうか。一家族で四十万羽近い養鶏もあり、十萬羽近い飼っている養鶏は稀ではなく、岸本氏の言う如く南米一の養鶏村として知られる迄にたつた。渡部さわさんは愛媛県の人で、少女時代から文学に長じ、文学少女として人に知られ、長じては俳誌「ホトトギス」の同人となり、渡部後も新道に精進され、多くの俳人を育てた文化人でもあった。

日と月と共に榮栄を続けるバストスにも、こうした博識篤農のさわさんの血のにじむような栽培者と夫若喜助翁の無限の寛容相心の賜であることを忘れてはならない。

勝 甫

Organização Social de Luto A Regional



Faça Bastos crescer prestigiando seu comercio. Sobre direção de Aparecido Feliciano Ribeiro. Ex. Funionario Da Funeraria São Pedro. Artigos Funerarios, prestação de serviço, flores, coruas, velas, - nosenko, hirrai e artigos para UMBANDA em geral... Atendimento Pelo INPS e FUN. RURAL. Atende-se dia e noite

Rua Adhemar de Barros, nº295 Fone. 361 Bastos Residencia no local.

葬具店 フネラリア. サンペードロ

後藤さんのガブリンボスの向側で葬具店を開業して居ります。当店は、花、花輪、ローソク、練香、仏式用の葬具一切用意してございます。尚高級棺の月賦の御相談にも応じます。尚昼夜受付けておりますから、電話で御注文下されは直ぐお届けいたします。

アデマル デ バロス街 295 電話 361
バストス 市

御 礼
金 一 封 宛
故郷原一様御境界の詩を感銘として御寄付戴きました。厚く御礼申上げます
阪東清美様
バストス山果人会

御 礼
金 一 封 宛
御夫君故郷原一様の御逝去に得心より哀悼の意を表します。右の御遺稿有難く御礼申上げます
バストス南米本願寺
バストス仏教婦人会
阪東清美様

御 礼
金 一 千 九 百 七 十 五 円 也
右は、バストス開拓館に御寄付下さいました。ありがとうございます。
バストス開拓館世話人
クロリア2区婦人会御中

XAVANTES-COMERCIO e REPRESENTAÇÕES de ESQUADRIAS de AÇO LTDA.

Rua Adhemar de Barros 5/11 em cima de Foto Miyazaki
Portas Comerciais, Portões, Grades, Venezianas Serviços de ma-
nutenção e concertos em geral. Aceitam-se qualquer pedidos

Ramo 開店お知らせ

建築用金物専門

ホルタ商店用(巻き上の鉄戸)
鉄の窓枠・セルカのクラフテ
ベネジアナ・鉄のポントソ
ビトロ・テレビのアンテナ
電線引込用の鉄塔
電気メーター計の鉄箱
ヒサン屋根の腕木・鉄製
右の取付、修理等の御引
受も致します。
迅速 丁寧
安価 親切

ルア・アマテルデハロス

宮崎写真館の上隣り

伊丹商会

PREFEITURA MUNICIPAL DE BASTOS

AVISO DE DÉBITO - INCRA - 1976

A PREFEITURA MUNICIPAL DE BASTOS e SINDICATO RURAL DE BASTOS, levam ao conhecimento dos Senhores Proprietários de Imóveis Rural, que os avisos de débito, referente ao exercício de 1976, acha-se em cobrança no Banco Banderantes S.A (agência de Bastos), com vencimento em data de 29/10/76, após esta data, os recibos que não forem quitados, serão devolvidos para o INCRA em São Paulo.

Solicitamos aos Srs. proprietários que procurem fazer o pagamento até a data acima referida, para evitar complicações futuras.

Informamos ainda que o INCRA enviará a esta UMC avisos de débitos para os proprietários que não receberam os avisos, nos casos de alteração cadastral e outros assim que recebermos a 2ª etapa, faremos os avisos de débitos chegarem as mãos dos interessados.

Bastos, 08 de setembro de 1976.

Alguerdo Paskakulis chefe da UMC.

インテラント諸彦に告ぐ

一九七五年度、インクラ(農地改革院)の料金徴収書類が市バンテラ
ンテス エコメルシヨ銀行に来てい
ますから、十月二十九日迄に納入願
います。

期限切れの徴収書は聖市のインクラ
(農地改革院)に返送しなければな
りませんので、後日の紛争を避ける為
めに納入期日を厳守されんことを切望
致します。尚、地権の変更その他の理由
によって今度び通知がなかった方々へは各
人の御手許に徴収通告書が行く事になそ
居ります。

一九七六年九月八日

バストス市役所徴税課
バストス農村シンジカット
農村地主各位

PARA VEREADOR
SHIGERU SHIDA
Nº 2421
P/PREFEITO
TAKEO KIMURA
VICE: **PAULO KATO**
ARENA 2
Dedicación e Dinamismo

裏面は空白です

死亡通知並に会葬御禮

前妻 梶田静枝（六十二歳）歳宿痼疾にありた
 まり去る九月二十三日午前三時長逝致しました。
 依つて同日午後六時自宅出殯バストス墓地に埋
 葬致しました。此儀生前御交誼を賜わりました
 皆様へ謹んでお知らせ申上げます。

尚、葬儀に際しましては御多忙中の処遠路御会
 葬を戴き、且又御艱重なる御香料並びに御供花
 等を賜わり、裡心より御礼申上げます。

実は一々御廻礼申上ぐる筈の処取込中その意を
 得ませず、失礼乍ら取り敢えず紙上にて厚く御
 礼申し上げます。

一九七六年九月二十九日

喪主 梶田 実

長女 松浦 満恵

夫 健介

長男 梶田 明

妻 マルガリーダ

次女 梶田 道子

夫 明

三男 梶田 忠

四男 梶田 茂

親戚代表 梶田 袞完 勝

友人代表 安達 義男

上西 泰治

バストス商工会 様
 バストス福音ホーリネス教会 様
 バストスP.L教会 様
 バストス南米本願寺 様
 中央第三区 様
 ハストス在住各位 様
 聖市・リポリス・パラプアン 様
 ルセリア・オスワルドクルス 様
 トップパン・アダマンチーナ 様
 シンジャイ方面の各位 様

ウラは空白です

フンルラールに就いて御通知

今回新法令に依り最近五カ年分のノックタ、プロゾットルの照細書を提出して申請しなければならなくなりました。五カ年前からと云えば、長い月日のため、ノックタ紛失の場合もありませんので、なるべく早く当事務所へ御手許にある最近のノックタ持参の上、御出頭下さるよう御通知申し上げます。但し此の申請は単にフンルラールの申請で、農村の恩給とは別の問題であります。

此の申請は義務であり、これにより発行される証明書を取得して置かないと、銀行融資とか、土地売買などの場合非常に困難となるばかりでなく、罰金刑を課せられることとなります。

○期限は、十月三十一日となつて居ります。
一九七六年九月二十八日

プレゼンテ ヴァルガス街一八九番地、C.P.一〇三番

石川法律会計事務所

電話一〇五番及一〇八番

農村恩給について

今年のはじめに法令化した農村恩給は、法令の詳細通知が送られましたので、一時中止状態になつて居りましたが、去る五月の末、法令の詳細が発表されました。

この法令の詳細にもとづき、今年のはじめに当事務所から御通知いたしました通り、タッシヤ(コントリビュッソ)を納めなければなりません。

最高金額を納めるようになって居た人は、今年の始めに納めるよになつていた金額同じ金額を納めるのですが、これ以下を納める方は、今回の詳細では多少の差額がありますので御承知下さい。尚、今年のはじめに当事務所へ受付けてありました方々からは、手数料は敷きません。期限は十月二十九日となつて居りますので、期限前にタッシヤ御持参の上本人が当事務所までおいで下さるよう、御通知申し上げます。

尚、最高額タッシヤ以下の方で、当事務所へタッシヤを預けられたままになつて居られる人も、法令詳細による差額がありますので、御多中恐縮ですが、是非御本人がおいで下さるようお願い申し上げます。

一九七六年九月二十八日

石川法律会計事務所

